

令和5年度春採湖ウチダザリガニ捕獲事業

1. 実施方法

(1) 2回目の捕獲業務における水草の増加に伴う捕獲拠点の間引きについて

ア. 経過

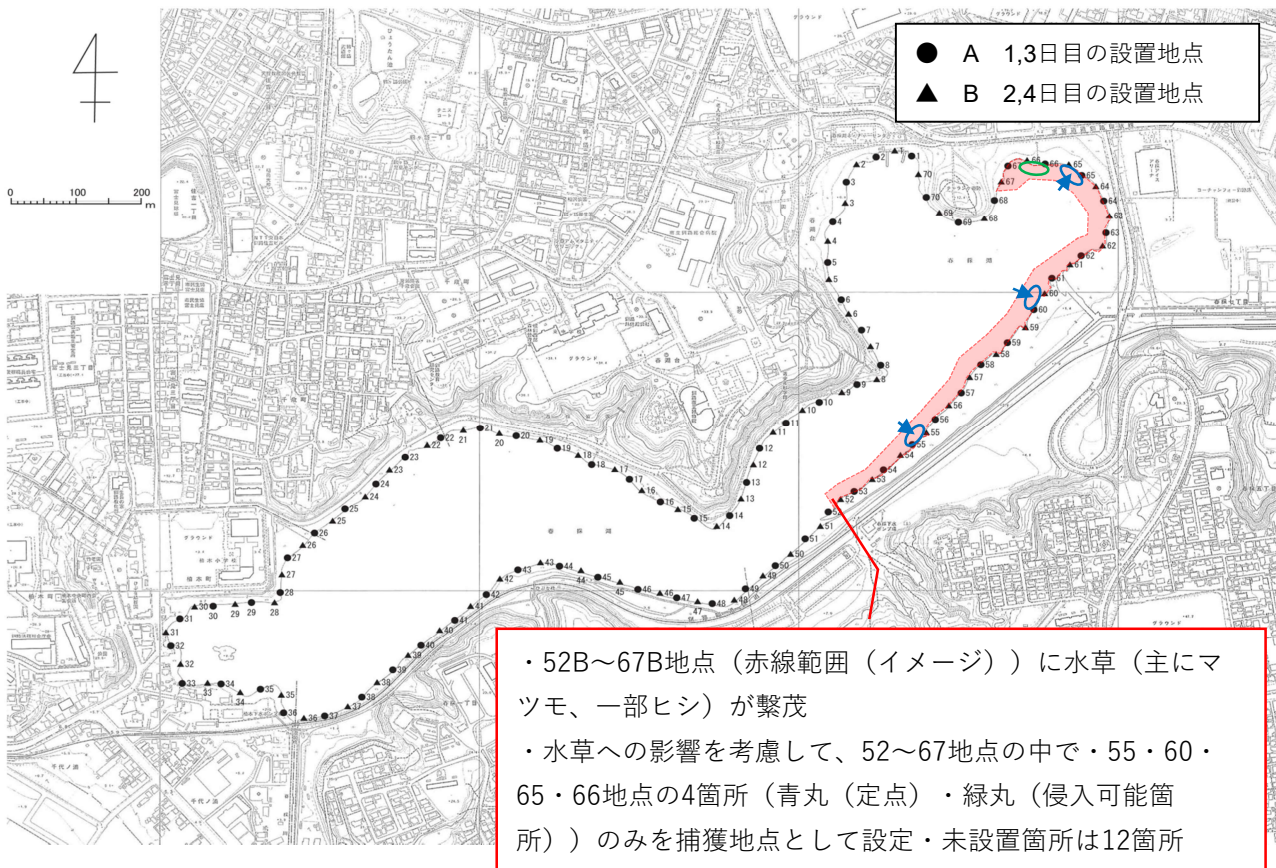
令和5年9月25日に2回目の捕獲業務のために漁具(どう)を仕掛けたが、一部(図: 52B~67B)地点で水草(主にマツモ、一部ヒシ)が繁茂しており、ボートで当該地域に侵入し捕獲作業を実施することにより水草の損傷が懸念されると委託業者から相談があった。

同日に対応策を委託業者と当市で協議し、翌日(9月26日)からの捕獲業務について下記の対策を講じた。(蛭田調査員にも事前共有および対応策の内容確認を行った)

イ. 対策

- ①水草への損傷を軽減するため9月26日~29日の捕獲作業をボートからカヌーに変更
- ②水草が繁茂している地点でも継続的に捕獲数のデータを取得するため、3箇所の地点(55・60・65地点)を定点として設定し、漁具(どう)を設置
- ③52~67地点の中でボート(カヌー)での侵入が可能だった66地点にも設置
- ④漁具(どう)の未設置箇所は52~54、56~59、61~64、67地点の計12地点

図: 令和5年度春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 2回目捕獲業務 漁具設置場所(イメージ)



2. 捕獲個体数

(1) 令和5年

捕獲月日	令和5年6月(1回目)					令和5年9月(2回目)※					合計
	6/27	6/28	6/29	6/30	計	9/26	9/27	9/28	9/29	計	
雄	95	65	59	40	259	85	27	32	46	190	449
雌	35	48	40	34	157	135	40	56	54	285	442
合計	130	113	99	74	416	220	67	88	100	475	891

※水草の増加に伴い捕獲拠点を間引いて実施

(2) 令和4年(参考)

捕獲月日	令和4年7月(1回目)					令和4年9月(2回目)					合計
	7/6	7/7	7/8	7/9	計	9/27	9/28	9/29	9/30	計	
雄	56	55	41	28	180	196	190	166	120	672	852
雌	49	56	42	30	177	205	201	204	139	749	926
合計	105	111	83	58	357	401	391	370	259	1,421	1,778

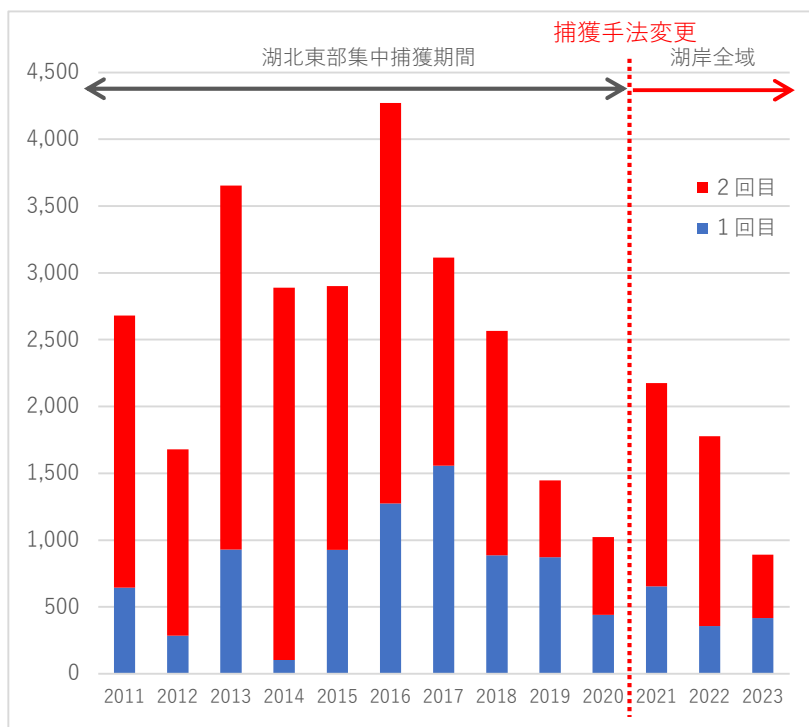
●令和3(2021)年度から調査日数及び範囲変更

～令和2(2020)年 1回目:全域5日間調査、2回目:北東部10日間調査

令和3(2021)年～ 1回目、2回目とも全域5日間調査

(3) 年間の捕獲数の推移

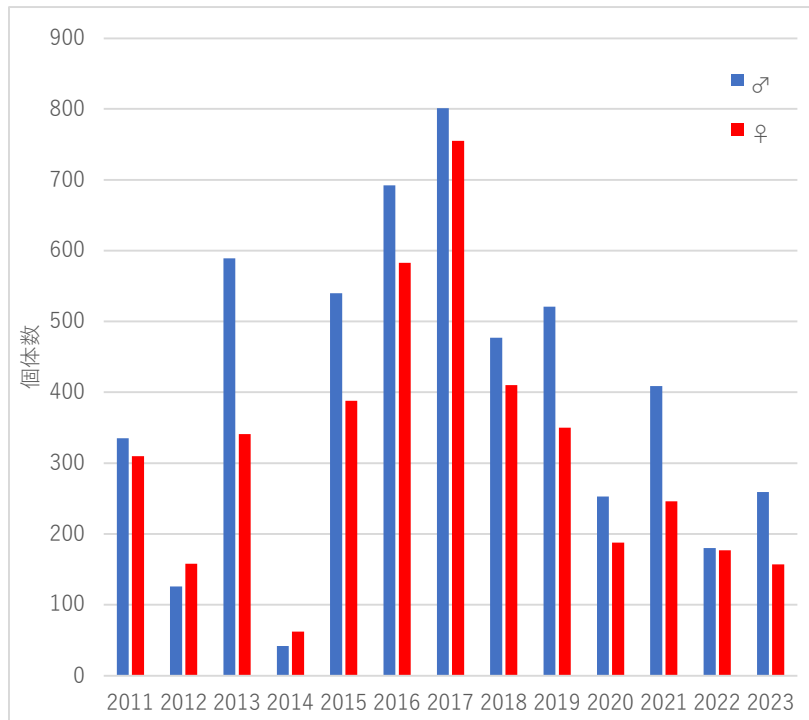
year	1回目	2回目	Total
2011	645	2,035	2,680
2012	284	1,396	1,680
2013	930	2,724	3,654
2014	104	2,785	2,889
2015	928	1,972	2,900
2016	1,275	2,996	4,271
2017	1,556	1,557	3,113
2018	887	1,678	2,565
2019	871	576	1,447
2020	441	581	1,022
2021	655	1,521	2,176
2022	357	1,421	1,778
2023	416	475	891



(4) 捕獲時期の捕獲数の推移

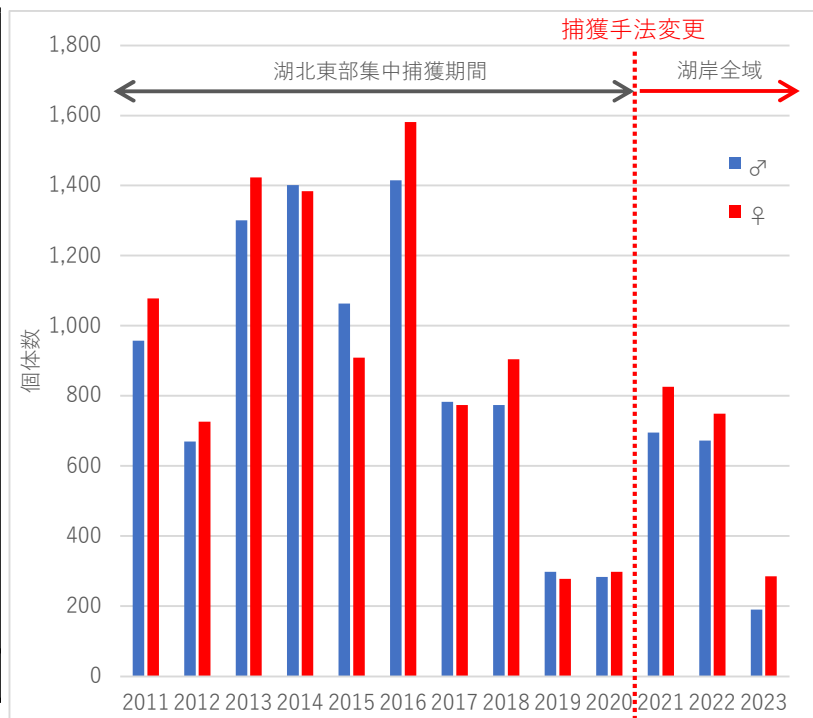
ア. 1回目：6～7月調査

year	♂	♀	Total
2011	335	310	645
2012	126	158	284
2013	589	341	930
2014	42	62	104
2015	540	388	928
2016	692	583	1,275
2017	801	755	1,556
2018	477	410	887
2019	521	350	871
2020	253	188	441
2021	409	246	655
2022	180	177	357
2023	259	157	416

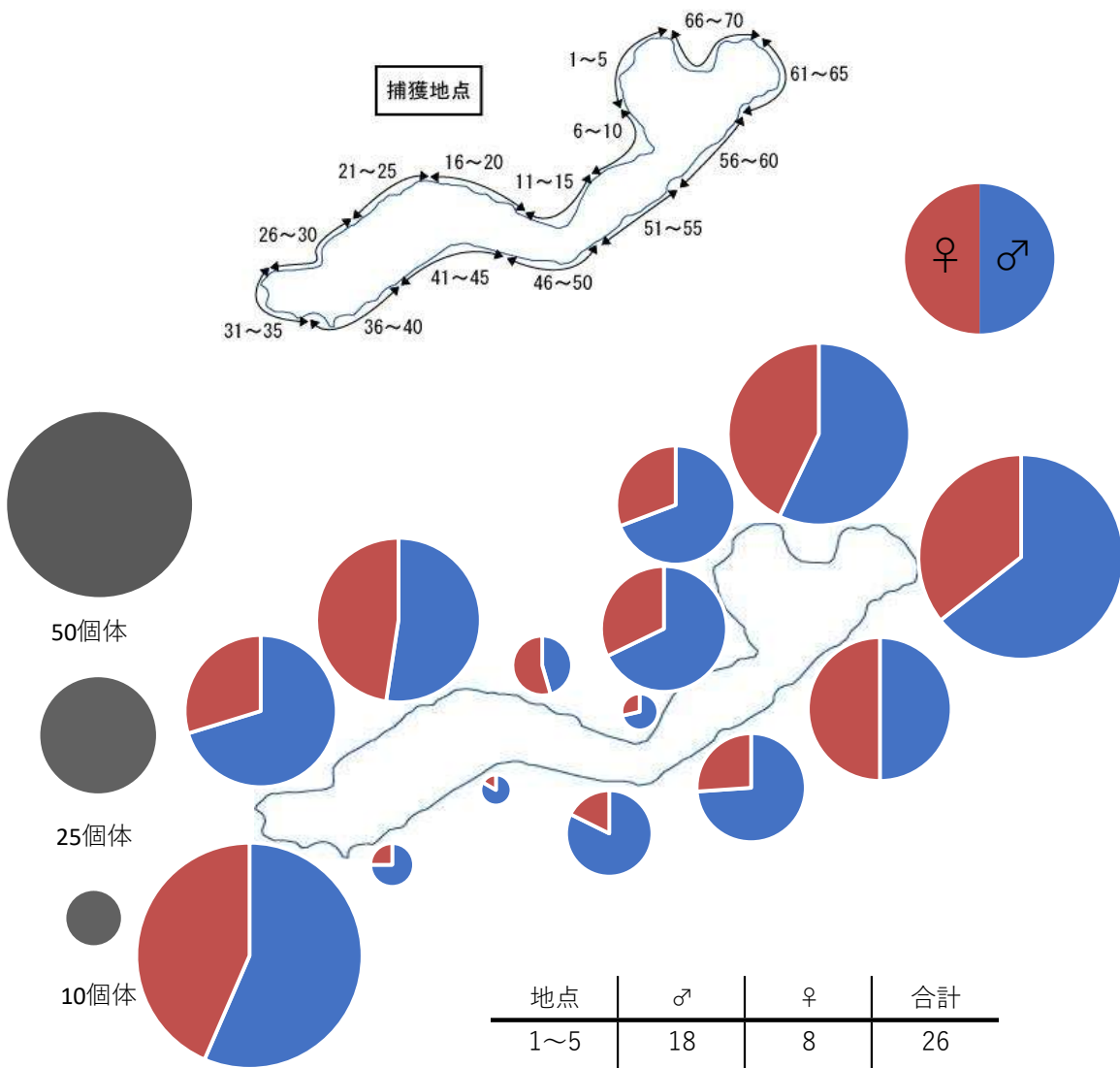


イ. 2回目：9～10月調査（参考）

year	♂	♀	Total
2011	957	1,078	2,035
2012	670	726	1,396
2013	1,301	1,423	2,724
2014	1,401	1,384	2,785
2015	1,063	909	1,972
2016	1,415	1,581	2,996
2017	783	774	1,557
2018	774	904	1,678
2019	298	278	576
2020	283	298	581
2021	695	826	1,521
2022	672	749	1,421
2023	190	285	475

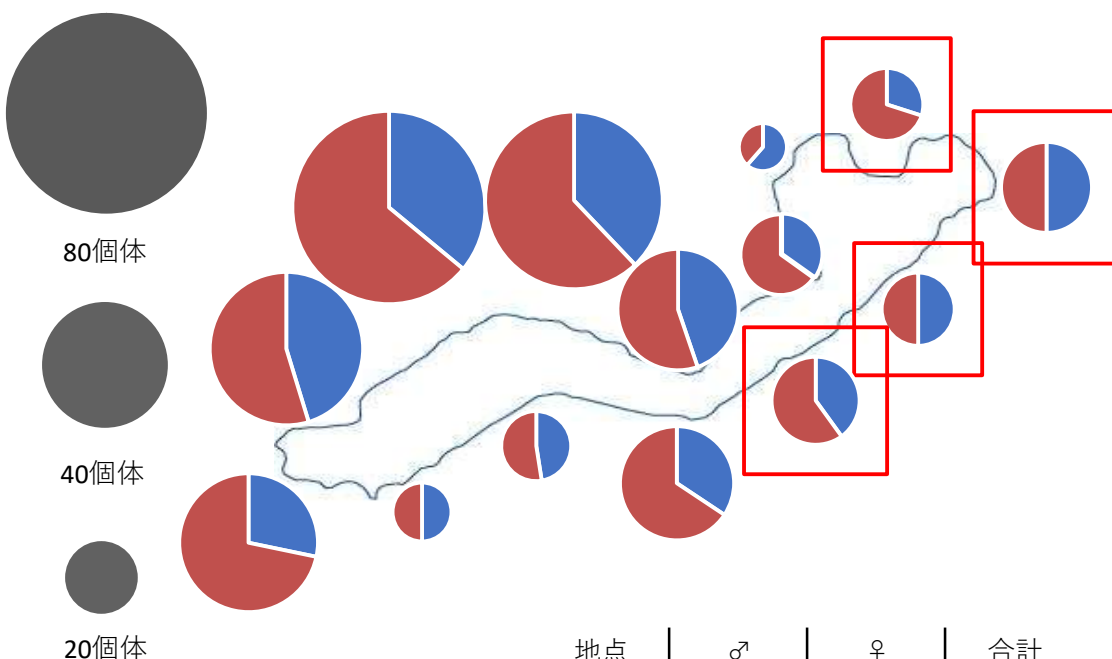
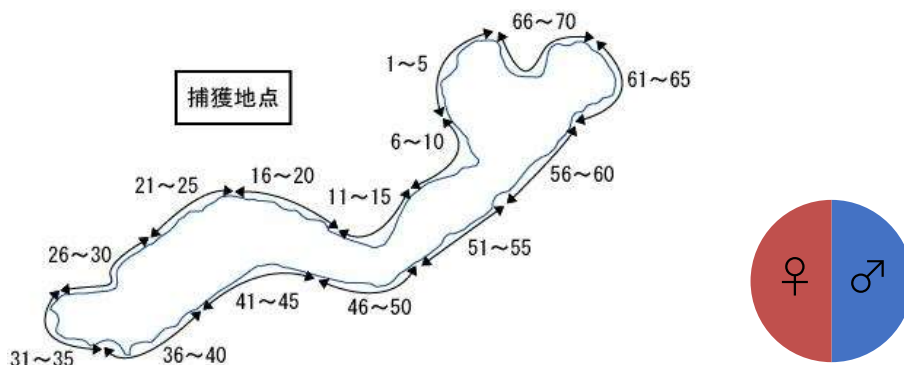


捕獲地点別分布図（1回目、6月）



地点	♂	♀	合計
1～5	18	8	26
6～10	19	9	28
11～15	5	2	7
16～20	5	6	11
21～25	22	20	42
26～30	26	11	37
31～35	39	30	69
36～40	6	2	8
41～45	5	1	6
46～50	14	3	17
51～55	17	6	23
56～60	17	17	34
61～65	38	21	59
66～70	28	21	49
合計	259	157	416

捕獲地点別分布図（2回目、9月）

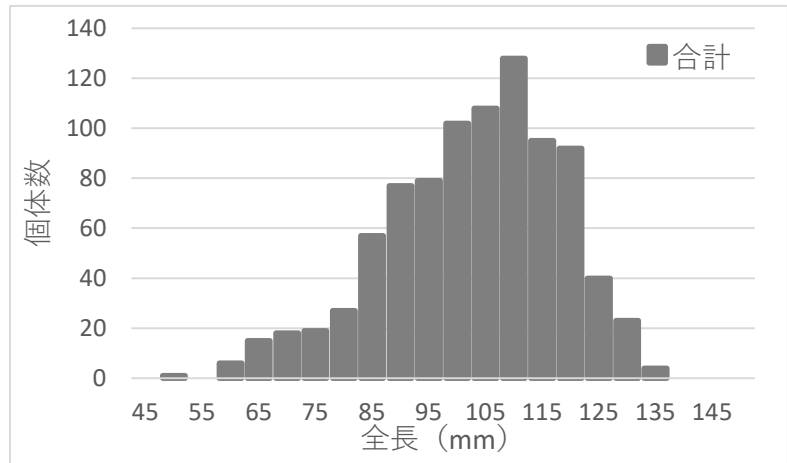
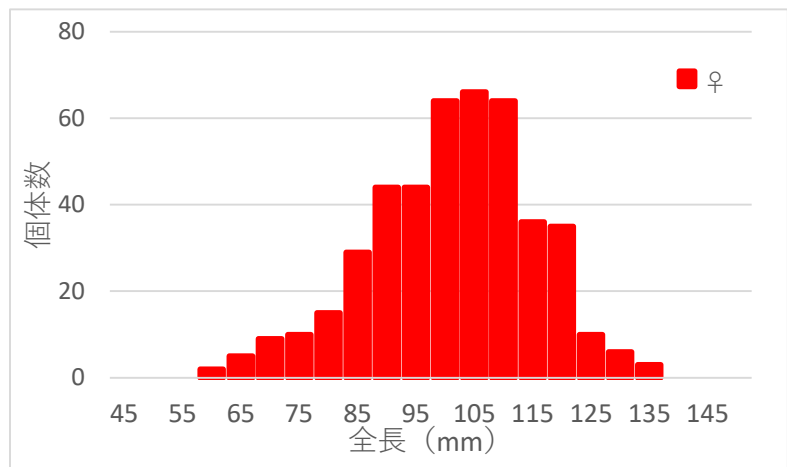
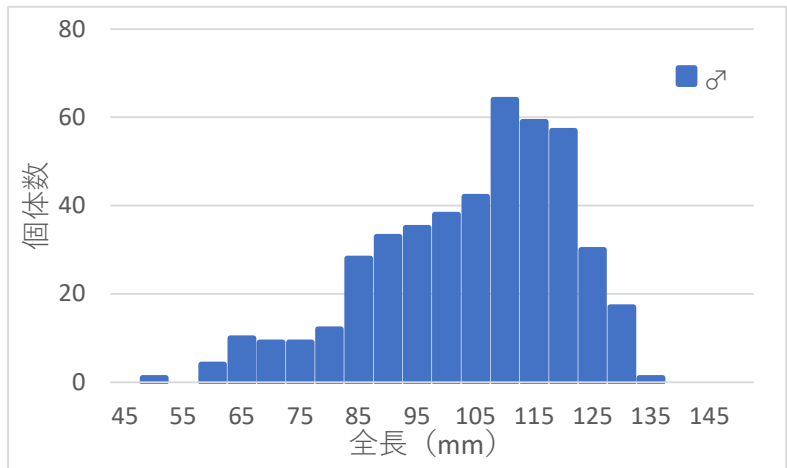


※円グラフを赤枠で囲った地点及び表内黒枠部では、9月27～29日については地点52～54、56～59、61～64、67の計12地点において捕獲作業を実施していない。

地点	♂	♀	合計
1～5	8	5	13
6～10	8	15	23
11～15	17	21	38
16～20	25	41	66
21～25	27	48	75
26～30	24	29	53
31～35	13	33	46
36～40	8	8	16
41～45	9	10	19
46～50	12	23	35
51～55	10	15	25
56～60	10	10	20
61～65	13	13	26
66～70	6	14	20
合計	190	285	475

全長別個体分布図（2023）

全長 (mm)	♂	♀	合計
45	0	0	0
50	1	0	1
55	0	0	0
60	4	2	6
65	10	5	15
70	9	9	18
75	9	10	19
80	12	15	27
85	28	29	57
90	33	44	77
95	35	44	79
100	38	64	102
105	42	66	108
110	64	64	128
115	59	36	95
120	57	35	92
125	30	10	40
130	17	6	23
135	1	3	4
140	0	0	0
145	0	0	0
150	0	0	0
計	449	442	891



◆平均全長（過去5年） (mm)

	♂	♀	平均
(参考)2008年	114.1	111.5	112.9
2019	102.6	98.5	100.8
2020	96.6	93.0	94.9
2021	101.0	99.1	100.1
2022	102.5	99.7	101.0
2023	102.6	99.7	101.2
2019-2023平均	101.1	98.0	99.6

3. その他

(1) ウチダザリガニ堆肥化実験について

ア. 経過

捕獲されたウチダザリガニ（廃棄物）の有効活用の可能性について、令和5年度に検討した。

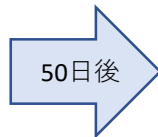
そこで、環境事業課では従前より、生ごみ堆肥化容器等を活用した生ごみ減量化の実験を実施していたため、今年度2回目の捕獲業務で捕獲したウチダザリガニ100匹を試料提供し、当実験の中でウチダザリガニの堆肥化実験を実施した。

実験の経過については、Instagram（アカウント名：ecocity946）で報告した。

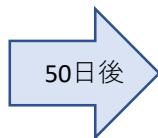
イ. 結果

① コンポスト、花壇を利用

○コンポスト、ザリガニ丸ごと



●花壇、砕いたザリガニ



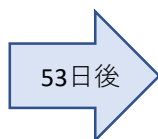
9月28日から50日でザリガニがほぼ分解され、堆肥化することができた

② キューロを使用

○湯通ししたザリガニ



●生のザリガニ



コンポストと比較すると、残った殻は多かったものの、着実に分解していることを検証することができた。跡形もなく分解とは行かなかったが、概ね良好な結果を得られた。